

1 フラッグシッププロジェクトの推進

1 事業内容

(1) 地球温暖化防止プロジェクト

フラッグシッププロジェクトとして6年目になりました。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症蔓延の中、活動が大きく制限されました。当プロジェクトも拡大防止に気を配りながらも、工夫を重ねつつ、止まることなく啓発に向け活動を継続しました。コロナ禍にあっても地球温暖化防止、SDGs

(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) に対する認知度をさらに高め、市民・事業者自らが足元からできることを実践することを目標に活動しました。

1-1 すいたクールアースウィーク

市内公共施設、企業、各種団体の皆様に「地球温暖化防止に向けた取り組みの全市的な促進」を目的に、9月18日(土)～9月26日(日)の間、省エネ活動、地球温暖化に関する啓発展示などに取り組みました。具体的な取組は以下の通りです。

〈取組1〉 すいたムーンライトコンサート オンライン開催
主催：アジェンダ21すいた

ポスター制作協力：大阪アニメーションカレッジ専門学校

令和3年度のすいたムーンライトコンサートはオンラインにて実施しました。9月18日より令和4年度クールアースウィークまでの期間、ホームページ上で鑑賞できます。

〈取組2〉 ダウンライトカフェ 健都パークライフ創造パートナーズ

日時：令和3年9月18日(土)～20日(月・祝) 18:00～20:00

場所：健都ライブラリーカフェ(吹田市岸部新町2-31)

カフェ内の照明を部分的に落として、LEDライトで光の演出を行いました。



＜取組3＞ 月の観察会（中秋の名月）

日時：令和3年9月21日（火）20：00～21：00頃

場所：わくわくの郷・吹田市自然体験交流センター

主催：一般財団法人 大阪市青少年活動協会

天体望遠鏡でお月様を観察しました。

＜取組4＞ 環境楽座 2021 今日からはじめるエコアクション

日時：令和3年9月26日（日）～令和4年1月29日（土）（全6回）

場所：オンライン開催、見学など

主催：特定非営利活動法人 すいた市民環境会議

目の前で起きている気候危機を自分ごととしてとらえるための講座です。生物多様性・地球温暖化防止・バイオエネルギー・再生エネルギー・海洋プラスチックなど実情を知り、次世代のために行動できることを共に考えました。

＜取組5＞ 関連図書コーナーの設置・絵本の読み聞かせ

場所：吹田市内の各図書館

「月」をテーマにした絵本の読み聞かせを行います。また、「環境」・「月」・「地球温暖化」などのテーマの図書を集めたコーナーを設置しました。

＜取組6＞ 大学の取組

場所：大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部

低炭素社会の実現に向けたキャンペーン「Fun to Share」に賛同しており、CO2削減に向けた具体的な取り組みで、9月30日までCOOLBIZを実施しました。また、9月18日から26日まで、東日本大震災以降、すでに点灯を控えている17号館時計塔に加え、16号館屋上の「大阪学院大学」サインの終日ライトダウンを実施しました。また大学図書館においてもクールアースウィーク中に、地球温暖化について考え、ライフスタイル、事業スタイルを見直す機会となるような企画展示を実施しました。

＜取組7＞ プロギング in 吹キャンの実施

場所：大阪大学吹田キャンパス

主催：大阪大学環境サークル GECS

プロギングとはジョギングをしながらごみを拾うという近年、注目されている環境活動です。昨年に引き続き、普段使っている吹田キャンパス内やその周りの学生が多く通る場所でプロギングをしました。

＜取組8＞ 大学における多様な取組

場所：関西大学

ペーパーレス化の促進、クールビズの実施、室温設定の遵守、啓発動画の回覧、環境保全型サービス活用の促進啓発ポスターの掲示

- ・学内会議等で使用する資料のペーパーレス化を促進
- ・クールビズの実施や空調使用における節電アクションの実行（室温28℃を目安とし、風量は自動に設定等）
- ・傘シェアリングサービス「アイカサ」の設置

- ・ウォーターサーバーの設置
- ・コンタクトケース回収ボックスの設置（吹田市と連携した取組み）
- ・学内の環境保全の取組みを動画体で学内共有
- ・図書館にて、すいたクールアースウィーク×KU Library thinks SDGs2021 コラボレーション展示

＜取組9＞ 情報ライブラリーピックアップ

場所：吹田市立男女共同参画センター・デュオ

当センター1階の情報ライブラリーにて、関連図書のパックアップ展示コーナーを設置しました。

＜取組10＞ メイシアター＜公益財団法人 吹田市文化振興事業団＞

すいたクールアースウィーク期間中のメイシアター屋外ロゴ、スポットの消灯を行いました。事務所内での貼紙・メール連絡により、事務用品のリサイクル推進、マイボトル・マイ箸持参、食品ロス削減、ペーパーレス会議について提案しました。

【その他の取組】

団体名	取組内容
リコージャパン株式会社	社内サイネージでのすいたクールアースウィークの宣伝
株式会社 大久	社員の電気自動車の利用
特定非営利活動法人 ここ	エコバッグの利用
大阪ガス株式会社 ネットワークカンパニー	マイボトルの使用促進
アサヒビール株式会社 吹田工場	炭酸ガス排出量の削減、燃料電力源単位等の削減 水源地保全活動への参加、屋外広告の消灯
国立大学法人 大阪大学	夏期の軽装の励行、電力可視化システムによる使用電力量の見える化、大阪大学エネルギーマネジメント計画に基づいた取組、省エネポスターの掲示
株式会社 ガンバ大阪	ガンバ大阪選手写真素材協力 スタジアム内での啓発ポスター掲示
CAT グループ 大阪アニメーションカレッジ専門学校	すいたムーンライトコンサートポスター作成協力、学内の節電啓蒙活動、正しいごみの分別
CAT グループ キャットミュージックカレッジ専門学校	学内の節電啓蒙活動、ごみの正しい分別

【その他賛同企業・団体等】

- ・阿部住宅設備機器株式会社
- ・吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館(ゆいびあ)
- ・J:COM 北大阪
- ・吹田市資源リサイクルセンター＜公益財団法人 千里リサイクルプラザ＞

- 吹田市情報発信プラザ（Inforest すいた）
- 吹田商工会議所
- スパゲッティリア マッキー
- 千里金蘭大学
- 株式会社 ダスキン
- 学校法人 西大和学園 大和大学
- 吹田市立博物館
- 浜屋敷く特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会
- 吹田市花とみどりの情報センター<株式会社 日比谷アメニス>
- 三井不動産株式会社(ららぽーと EXPOCITY)

1-2 市役所本庁舎ロビー展示

市役所本庁舎の正面玄関を入ったロビーにて、環境問題に関する市民啓発と当会の活動紹介のため、環境月間である6月にパネル展示を実施しようとして準備を進めていましたが、大阪府に緊急事態宣言が発出されたため、開催は延期となりました。7月9日から14日の期間で何とか開催することができました。

当会の各部会やプロジェクトに加え、団体会員であるすいた市民環境会議や大阪学院大学、千里リサイクルプラザからも出展しました。



(2) 食品ロス削減プロジェクト

2-1 すいた食べきり運動啓発キャンペーン

ア すいた食べきり運動推進協力店

- 今年度の協力店舗登録数は71店舗（令和4年4月現在）となりました。
- 実施要領を制定し、賛同書の様式を替え、登録店舗の記入を依頼しました。得られた情報をもとに、市民や店舗に役立つHPの掲載方法を検討しました。

イ 啓発キャラクター

食べきり運動のキャラクター「ペロリンコ」に続いて、お店の食品の売れ残り及び廃棄処分を防ぐための「手前取り」啓発に向け、「てまえどり」のキャラクターを作成しました。

ウ 啓発パネル巡回展示

10月の「食品ロス削減月間」において、2か所で巡回展示を行いました。

市役所正面玄関ロビー 令和3年10月1日（金）～7日（木）

千里ニュータウンプラザ 令和3年10月23日（土）～30日（土）

エ 啓発動画

食品ロス削減を啓発する動画を作成し、「すいた環境教育フェスタ 2022」（2月）において、公開しました。

オ すいた食べきり運動推進協力店とのコラボレーション

お店の協力を得て、食品ロス削減キャンペーンの企画を検討中です。

【すいた食べきり運動 啓発グッズ例】



【すいた環境教育フェスタに出展した動画（切り抜き画像）】



2 実施評価及び課題

地球温暖化防止フラッグシッププロジェクトでは、「すいたムーンライトコンサート」が新型コロナウイルスの影響により、現地開催は叶いませんでしたが、新たな試みとして、オンライン上でコンサート出演者たちの動画を公開し、コロナ禍でも地球温暖化防止のことを忘れないでほしいという願いのもと、動画を配信しました。

また、「すいたクールアースウィーク」は例年どおり実施し、賛同団体と連携した地球温暖化防止の啓発活動を行いました。

コロナ禍の中でもオンラインなどを駆使して、啓発を推進できました。

課題としては、「すいたクールアースウィーク」の賛同団体を増加させるために新たな活路を見出す必要があることや、「すいたムーンライトコンサート」を現地で開催する場合にコロナ対策を十分に行う必要があり、今後、検討が必要です。それに加えて、関係団体との連携、新たな担い手の創出、市内複数箇所での開催なども課題として挙げられますので、その達成を目指して取り組みたいと考えています。

「すいた食べきり運動」では、コロナ禍の影響で店舗の大幅な拡大はできませんでした。

新しい取組として、「食品ロス削減月間」のパネル巡回展と、「すいた環境教育フェスタ 2022」（2月）における啓発動画の公開をしました。啓発パネルと啓発動画を作成したことで、広く積極的な活用が見込めるようになりました。

また、店舗とのコラボレーションが進んでいることは、今後の展開に期待できます。

今後の課題としては、「すいた食べきり運動」については、協力店の店舗数拡大と市民への認知度向上です。そのため、HP 掲載の方法を十分検討し、市民にも店舗にも活用しやすい画面表示を実現する必要があります。

「手前取り」啓発については、「すいたごみ減量再資源化会議」の委員のうちのスーパー関係者の協力を得て、「手前取りキャンペーン」の実現に向け、働きかけていく必要があります。

2 全体事業

(1) 市内環境団体との連携・交流

事業内容

すいた環境教育フェスタ 交流会

新型コロナウイルス感染症の影響により、すいた環境教育フェスタ 2022 はオンライン開催となりましたが、交流会も今年度はオンライン開催として実施しました。

すいた環境教育フェスタの出演団体のうち、アジェンダ 21 すいたも含め、12 団体が参加しました。

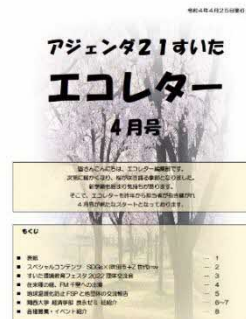
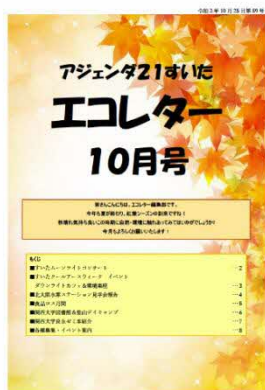
各団体の課題やその解決に向けたこれからの連携の可能性などを話す良い機会となりました。

(2) エコレターの発行

事業内容

関西大学良永ゼミの学生の方と共同で「エコレター」を作成しています。記事作成は共同で行い、編集は良永ゼミの学生の方が行っています。学生の方の若い視点で市民の目を引く「エコレター」を発行することができました。

会員への情報提供及び市民への環境保全活動の普及を目的に、例年、年 4 回発行しています。(令和 3 年 7 月、10 月、令和 4 年 1 月、4 月)



(3) すいた環境教育フェスタ

事業内容

すいた環境教育フェスタ 2022 は新型コロナウイルスの影響により、オンライン上で開催することになりました。アジェンダ 21 すいたも出展団体として PDF データや動画を出展し、参加しました。

エネルギー部会からは「気候危機セミナー」と「水素ステーション見学会」のレポートを、自然部会からは生物多様性の大切さを解説したパンフレットの紹介、資源部会からは「マイボトルマップ」の紹介をしました。

フラグシッププロジェクトは地球温暖化防止チームから「すいたクールアースウィーク」と「すいたムーンライトコンサート」の取組紹介を提出し、食品ロス削減チームからは、食品ロス削減についての紹介と削減、さらに「てまえどり」のことも紹介した動画を作成し、出展しました。

(4) ホームページの管理・運営

事業内容

令和 3 年 6 月から令和 4 年 5 月にかけて、「アジェンダ 21 すいた」の活動を広く市民に情報発信しました。

(5) ホームページの改修

事業内容

ホームページの改修に向けて、会議を重ね、現状のページの古い情報などは新しいものに更新しました。継続して検討を重ねており、来年度はホームページ自体のリニューアルを検討しています。

(6) 定時総会運営事業

事業内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 3 年度の定時総会は書面開催となりました。例年、講演会、懇親会を同時開催しておりましたが、そちらは開催することができませんでした。

(7) パンフレットの発行

事業内容

リニューアルしたアジェンダ 21 すいたのパンフレットを 100 部発行しました。

(8) オンライン環境の整備

事業内容

活動の幅を広げるため、オンライン会議のライセンス取得を検討しましたが、オンライン講演会の予定がなく、未取得となっています。今後、必要に応じてアカウントを取得します。また、オンライン環境整備のための下準備としてパソコンの修繕を行いました。

3 部会別事業

【エネルギー部会】

1 事業内容

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や、再生エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進めます。

1-1 暮らしのCO₂ダイエットの小学校への展開

環境学習としてCO₂ダイエットに取り組む学校の発掘を行い、江坂大池小学校において実施されている「サタデースクール」に参入できる目途がついていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度、4年度とも新規参入が見送られました。プログラムなど関係団体との打ち合わせ内容を活かすべく、学校以外での開催について検討を続けました。

1-2 エコキャンドル作り

コロナ禍において実施することができませんでした。

1-3 再生可能エネルギーに関する市民啓発イベント

気候危機に関するセミナーを2回開催しました。

1回目は、令和3年10月30日（土）、「気候危機！に私たちはどう取り組むか」をテーマに、和歌山大学客員教授の和田武氏から気候危機と各国の取り組みについて、吹田市環境政策室から「吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画」の策定経緯、計画の目標について、講義を行いました（参加者25名）。

2回目は、令和4年5月29日（日）、英国グラスゴーでの市民デモに参加した小林誠道氏をゲストに、「COP26報告会～欧州の市民運動に学ぶ～」をテーマに、市民全般として、また当団体として、今後の活動の展開について考えました（参加者16名）。

1-4 「省エネ相談会」

コロナ禍において市の主催行事がほぼ中止となるなど、実施には至りませんでした。

1-5 エコすごろくや火力発電実験装置の活用

コロナ禍において環境教育フェアがオンライン開催になるなど、対面形式のイベントが実施されなかったため、有効な活用ができませんでした。

2 実施評価及び課題

長年継続してきたCO₂ダイエットの新たな展開として、子どもを通じて家庭の生活習慣を見直してもらうきっかけとなることをめざし、小学校で取り組んでもらえるよう模索してきたが、コロナ禍ということで進捗が見られませんでした。新年度では、学校以外での開催を計画しており、CO₂ダイエットのみならず、環境教育のさらなる展開を図りたいと考えています。

市民啓発イベントを2度開催することができたことは評価できます。今後も市民啓発を続けるとともに、具体的な行動変容に結びつける効果的な手法について、また学生や若者などへの働きかけや連携について検討していきたいと考えています。

【資源部会】

1 事業内容

持続可能な循環型社会を目指すため、使い捨てるライフスタイルを改め、物を大事にする意識の啓発と3Rのリデュースに重点を置いた、ごみを生まない資源循環の仕組みを形成します。

1-1 市内に給水ができるスポットやマイカップ・マイボトル対応のカフェを広げる取組

「マイボトル対応のカフェマップ」を市役所正面玄関ロビー展示（令和3年6月7日（月）～14日（月））に出展しました

すいた環境教育フェスタ（オンライン開催）（令和4年2月7日（月）～）に「マイボトル対応のカフェマップ改定版」を出展しました。

マップのWEB版について検討しました。

1-2 ごみの減量・資源化のための啓発

吹田市廃棄物減量等推進審議会に委員として参加し、第3次一般廃棄物処理基本計画策定に関わりました。

吹田市ごみ減量再資源化推進会議のメンバーとして2回の会議（コロナ禍のため書面開催とオンライン開催）に参加しました。

2 実施評価及び課題

すいた環境教育フェスタは昨年につきオンライン開催で行われたため、対面での給茶サービスによる啓発活動はできませんでした。

資源部会の出展内容は吹田市の地図上にカフェを書き入れた紙版のマップでしたが、インターネットでは見づらく、WEB版のマップを完成させることが重要です。

【自然部会】

1 事業内容

1-1 みどりのカーテンの普及・啓発活動

みどりのカーテン講座、エコクッキング講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

1-2 自然観察会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

1-3 生物多様性の普及・啓発活動

市役所ロビー展示に生物多様性パネル及びリーフレットを展示・配布しました。
吹田商工会議所会館前植込みに「在来種の庭」を提案しました。

2 実施評価及び課題

各講座、観察会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

生物多様性については、特定外来種・在来種の両側面から取り組んでいく必要があります。

今後もテーマに沿って市民にわかりやすく参加しやすい活動を組み立てていく必要があります。そのために他団体とも連携しながら進めていく必要があると考えています。

部会・フラッグシッププロジェクト・幹事会の参加メンバー（50音順）

エネルギー部会

筏隆臣、井上道代、大林テル、岡本榮一、鍵谷誠一、馬場慶次郎、福井一彦、前田芳聰、百地俊満、吉田誠

資源部会

井上道代、武林禮子、孫田ケイ子、水川晶子、三輪信哉、山口百合子

自然部会

喜田久美子、寺西信明、馬場多佳子、藤田和則

地球温暖化防止プロジェクト

池渚佐知子、喜田久美子、馬場慶次郎、馬場多佳子、前田芳聰、三輪信哉

食品ロス削減プロジェクト

池渚佐知子、大林テル、柏原美子、武林禮子、水川晶子

幹事会

荒堀尚、池渚佐知子、小田信子、小山修平、辻村光高、馬場慶次郎、馬場多佳子、福井一彦、藤田和則、水川晶子、三輪信哉